

第5回ぶっく・とーく

河野貴代美さんが語る、

竹村和子著「彼女は何を視ているのか」

—映像表象と欲望の深層—

(作品社、2012年)

2013年7月17日(水) 18:30~20:00

※20:30まで交流会(希望者のみ)



今回は、フェミニズム研究に多くの著書をもつ故・竹村和子さんの意志を継ぎ編集された、映像論集『彼女は何を視ているのか—映像表象と欲望の深層』を取り上げ、本書の編者であり、著者の闘病に寄り添い支え続けた河野貴代美さんにお話を伺います。聞き手は同じく本書の編者である、新田啓子さんです。

お話し: **河野 貴代美** さん

(元お茶の水女子大学教授、本書の編者)

聞き手: **新田 啓子** さん

(立教大学教授、本書の編者)

竹村和子さん プロフィール

1954年、愛媛県生まれ。お茶の水女子大学大学院人間創成科学研究科教授。博士(人文科学)(2003、お茶の水女子大学)。琉球大学名誉博士(2010)。専門は、英語圏文学、表象研究、批評理論、特にフェミニズム研究、セクシュアリティ研究、ポストコロニアル/グローバル化研究。2011年12月13日逝去。

■会場: 日本女子会館5階 スペース We learn

■定員: 20名(先着順)

■参加費: 500円(お茶・お菓子付)

■申込方法: TEL03-3434-7575、FAX03-3434-8082(※裏面に申込書があります。)

本財団HPからもお申し込みいただけます。

公益財団法人

日本女性学習財団

■〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館5階

■TEL: 03-3434-7575 ■FAX: 03-3434-8082

■E-mail: jawe@nifty.com ■http://www.jawe2011.jp

《PROFILE》

かわの きよみ
河野 貴代美 さん 元お茶の水女子大学教授

米国シモンズ大学大学院でカウンセリング学を修めた後、日本に初めてフェミニストカウンセリングの理論と実践を導入し、根付かせた先駆者。日本フェミニストカウンセリング学会を設立、日本女性学会の代表も務め、1980年以降の女性学・ジェンダー研究発展に寄与したほか、アフガニスタンにおける女性のメンタルヘルスにも取り組んでいる。単著に、『フェミニストカウンセリング（I・II）』（新水社、1994/2004年）、『自分らしさを生きる心理学』（海竜社、1996年）、『国際人道支援におけるこころのケア』（新水社、2007年）など多数。

《MAP》



- JR浜松町駅北口・徒歩8分
- 都営浅草線・大江戸線大門駅A6出口・徒歩5分
- 都営三田線芝公園駅A3出口・徒歩2分

にった けいこ
新田 啓子 さん 立教大学教授

ウィスコンシン大学マディソン校大学院博士課程修了。東京学芸大学教育学部、一橋大学大学院言語社会研究科を経て、現在、立教大学文学部英米文学専修教授。専攻はアメリカ文学、文化理論。単著に『アメリカ文学のカルトグラフィック批評による認知地図の試み』（研究社、2012年）、訳書にトリーシャ・ローズ『ブラック・ノイズ』（みすず書房、2009年）ほか。

「スペース We learn」



日本女子会館5階に男女共同参画推進のための学習スペースを開室しました。資料の閲覧やミーティングにどなたでもご利用になれます。（グループ利用可）

開室 月・火・木・金 10:00~16:00 水 10:00~20:00 (要予約)

※休室：土日・祝日・年末年始

利用料 個人 300円/1回 (月刊「We learn」購読者様・学生半額)

団体 2,100円/1回 (3か月前から2日前まで受付いたします。)

問合せ TEL 03-3434-7575 <http://www.jawe2011.jp> (詳細はこちら)

←窓外は東京タワーと芝公園の樹木で落ち着いた雰囲気です。

【第5回ぶっく・とーく申込書】

⇒FAX：03-3434-8082

氏名	ふりがな		
住所	〒 _____		
電話		Eメール	@
FAX		所属等	

★財団HPからもお申込いただけます。個人情報とは当該事業の業務以外には使用しません。